



太田川河川事務所

ゴギ GoGi通信

No. 113

梅雨・台風期に備えて!



ポンプ車や照明車を使った訓練の様子

ポンプ車操作訓練を 実施しました。

太田川河川事務所では、排水能力30㎡/分級の排水ポンプ車を太田川水系で1台、小瀬川水系で1台、照明車を1台所有しています。災害が発生した際に、これらを使って円滑に作業が行えるよう、平成23年6月1日に広島市安佐北区根谷川堤防にて操作訓練を実施しました。

訓練には太田川河川事務所職員、災害時の操作協力業者の53名が参加し、太田川河川事務所職員の指導のもと、現地での据付方法、稼動方法を確認しました。排水ポンプ車の訓練では、堤防に設置された樋門を閉じ、宅地側の水路に溜まった水を川側へ排水することとし、堤防の斜面という作業環境の悪い箇所で据付作業を実施。より実際の洪水時に近い環境で訓練を行いました。

これらの訓練を通して、災害対策用機械の持つ能力が適切に発揮され、被害軽減が図れるよう努めてまいります。



さまざまな点検を行いました。

出水期前点検

太田川河川事務所では、梅雨・台風などの出水期に備えて、太田川、旧太田川、天満川、小瀬川などの水防活動上重要な区間を対象に、堤防等の「出水期前点検」を4月から5月にかけて実施しました。点検の結果、軽微な異常を確認した約30カ所については、継続的に変化をチェックしながら計画的な修繕を行っていきます。



出水期前点検の様子

安全利用点検

太田川河川事務所では、河川の利用が増加すると予想される夏休みを前に安心して河川を利用していただくために、「安全利用点検」を7月11日・12日・15日に実施しました。点検の結果、大きな異常は確認されませんでした。河川はもとより危険性を内包しているため、利用に際しては十分に注意ください。



安全利用点検の様子

砂防堰堤点検

6月10日に広島市安佐南区相田、安佐南区高取、安佐北区可部、廿日市市宮園・四季が丘、廿日市市大野町三鎗谷、大竹市湯船、大竹市玖波の7地区・16溪流にある17カ所の砂防堰堤において、施設の機能や安全性の点検を行いました。点検の結果、大きな異常は認められませんが、今後も定期的に点検を実施し、施設の安全管理に努めます。



砂防堰堤点検の様子

風水害対策訓練を実施しました。



風水害対策訓練の様子

太田川河川事務所では、梅雨・台風等による風水害が発生した際に、地域の方が的確に判断行動できるよう、迅速かつ正確な情報の収集を行い、わかりやすく伝達することを目的として、5月25日に風水害対策訓練を実施しました。

堤防の決壊により被害が発生した想定等での情報伝達訓練、昨年の出水を踏まえた内水対策の対応訓練、管内の各関係機関との情報収集・伝達訓練などを行いました。今回の訓練で明らかになった課題を改善し、さらなる防災体制の強化に努めてまいります。

XバンドMPレーダの降雨観測情報の配信開始!

昨年度に設置したXバンドMPレーダの降雨観測情報の配信が7月1日より開始されました。XバンドMPレーダでは、従来に比べ詳細かつリアルタイムな降雨観測が可能となるため、近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)による水害や土砂災害等の被害の軽減が期待されています。今後、防災活動等に役立つ情報提供や詳細な雨量情報を活用した洪水・浸水予測の高精度化について検討を進めていきます。なお、XバンドMPレーダによる降雨観測情報は下記のHPよりご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

詳しい情報をチェックしてみよう!



XバンドMPレーダの雨量情報画面

XバンドMPレーダ雨量情報 <http://www.river.go.jp/xbandradar/>

遠隔操縦装置「ロボQ」を装着した建設機械の操作訓練を行いました。



ロボQを装着した建設機械

土砂災害が発生した箇所では二次災害が起きるなどの危険性があるため、安全な場所から遠隔操作できる無人施工機械の活用が必要となります。太田川河川事務所では、梅雨・台風等により土砂災害が起きやすい時期を迎えるにあたり、5月26日・27日に広島市安佐北区可部町綾ヶ谷の砂防工事現場において、遠隔操縦装置「ロボQ」を装着した建設機械の操作訓練を行いました。綾ヶ谷地区は平成18年9月の台風13号による降雨で土石流が発生、人家1戸が全壊し集落内の市道に土砂が氾濫した箇所です。当日は、近隣で砂防工事を行っている施工業者の作業員ほか約50人が参加し、無縁によるリモコン操作の習得訓練を行いました。

小瀬川で水質事故対策訓練を実施しました。



オイルフェンスの展張方法の説明を聞く参加者

小瀬川水質保全連絡協議会において、6月6日に大竹市木野の河川敷で水質事故対策訓練を実施しました。現場で水質事故対策に携わっている担当者約70名が参加し、事故発生時に迅速かつ効果的に対応することを目的に、油が流出した場合を想定したオイルフェンスの展張方法と水質事故の原因物質を推定するための簡易水質分析試験についての訓練を行いました。

出前講座通信

山本小学校「環境と水辺安全」

6月17日に山本小学校(広島市安佐南区)の3年生150人を対象に、環境と水辺安全についての出前講座を行いました。水質のバックテストや、事前に行ってもらった水生生物調査の結果発表、川で遊ぶ時の注意点など、みんな積極的に参加して



水質バックテストを体験

ました。これをきっかけに、しっかり安全に注意しながら、もっと川に親んでもらえればと願っています。

殿賀小学校、久地小学校「自然災害から身を守ろう」

6月17日に殿賀小学校(山県郡安芸太田町)で、7月20日に久地小学校(広島市安佐北区)で、「自然災害から身を守ろう」と題して出前講座を行いました。土石流模型実験装置を用いて砂防堰堤の働きや、避難の仕方、非常持ち出し袋・非常食などについて勉強



殿賀小/土石流災害の恐ろしさについて話を聞く

しました。殿賀では昭和63年に、久地では平成11年に土砂災害、河川の氾濫が発生しています。いざという時には、出前講座で学んだことを生かしてほしいと思います。

太田川河川事務所では、河川や砂防に関する出前講座にお応じます。お問い合わせは当事務所まで。☎082-221-2436まで。

除草後



草が伸びていた河川敷(右)が、除草機械で整備されきれいに(左)

除草前



太田川河川事務所では、平成23年2月より、河川敷を利用される方や、地域の皆様が河川の利用に際して実施されている除草作業等を支援するために、小型の除草機械の無償貸し出しを行っています。
対象は太田川、小瀬川において活動や除草作業をされる方に限るなどの条件があり、1週間単位での貸し出しとなります。詳しくは最寄りの出張所へお問い合わせください。

ご存じですか？ 除草機械の無償貸与

お問い合わせ

已斐出張所 ☎082-271-1418 可部出張所 ☎082-812-2216
大芝出張所 ☎082-237-3404 小瀬川出張所 ☎0827-52-2245

5月25日、広島市内水面漁業協同組合が河川清掃事業として旧太田川・天満川の大芝水門から観船橋までと、京橋川の工兵橋から比治山橋までの範囲で清掃活動を実施し、太田川河川事務所職員も参加しました。
組合員や太田川河川事務所職員など総勢30名によつて朝8時30分から行い、流木やペットボトルなどの家庭ゴミが多く、そのほか自転車などの大型ゴミもありました。今後も市民のみなさんの協力を得ながらゴミのない太田川を目指して行きたいと思っております。河川環境を守るためには「川を大切に」して決して汚さない」という、一人ひとりの心掛けが大切です。



河川清掃活動の様子

広島市内水面漁業協同組合が 清掃活動を実施しました。



三篠川での放流の様子

体験した児童の声

- アユの稚魚は「小さくてきれいだなあー」と思いました。早くたまごを産んで早く戻ってきて欲しいです。初めてアユを放流してすごくいい体験ができました。
- 待ちに待ったアユの放流。川にかえす時、「がんばって生きるんだよ」「かならず戻ってきてね」と声をかけながらながりました。いつアユが大きくなって戻ってくるのか楽しみです。「元気に育ってほしいな」と思い、またアユの放流をしたいとも思いました。



小瀬川での放流の様子

アユの放流を体験！

4月18日に小瀬川で穂仁原小学校の児童5名が、5月18日には三篠川で狩小川小学校の児童35名が、生き物とのふれあいを通して河川環境について考えることを目的に、アユの稚魚の放流を行いました。児童たちは、元氣よく上流へ向かって泳いでいく稚魚を見送りながら、放流したアユが大きく成長し、来年の春にはその子どもたちが帰ってきてくれることを願いました。

河川の急激な水位上昇に気をつけよう！

暑い日が多くなり、川に行く機会も増えたのではないのでしょうか？水遊び、魚や虫取り、花探し、散歩など、川は楽しさがいっぱいあります。また、水や緑とふれあえる癒しの空間でもあります。しかし、このような川が危険な場所に変わることもあります。近年、各地でゲリラ豪雨と呼ばれる短時間の局地的な豪雨が増加傾向にあり、これにより河川の急な水位上昇が発生しています。また、遊んでいる場所で雨が降っていないにもかかわらず、川の上流で大雨が降った場合、急に水位上昇が起こる恐れがあります。

このような急な増水は、水が増え始めてからでは避難が間に合わない場合があります。また、川の流れが速くなると、ひざ下までの水かさでも、川の中で歩けなくなり、そのため、水が増え始める前に川から上がることが重要です。

空に雨雲が見えたとき、雷が聞こえたとき、急に雨が降ってきたとき、また気象台から大雨注意報、大雨警報、雷注意報などが発令されたときは、急な増水が発生する危険性があります。このようなときは橋の下での雨宿りは決して行わず、すぐに川から離れましょう。自然が送ってくれるサインや天気に関する情報に注意して、安全に楽しく川で遊びましょう。



水が増え始める前の避難が大切！

太田川河川事務所では、急激な水位上昇に関するリーフレットを作成し、出前講座等で活用しています。



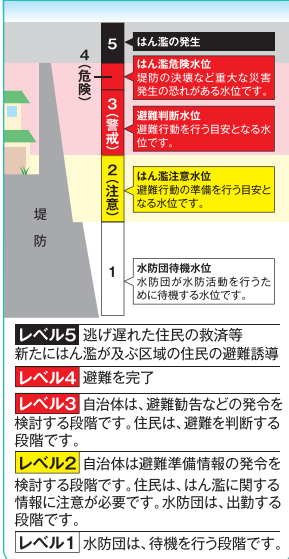
大雨時の防災情報について

国土交通省では、インターネットや携帯電話を通じて全国の河川に関する水位情報、雨量情報などの河川情報を「川の防災情報」というサイトでリアルタイムに発信しています。

太田川河川事務所のホームページからは、「川の防災情報」太田川・小瀬川版」で見ることができ、長時間の降雨等で、太田川・小瀬川にある水位観測所の水位が一定の水位を超えると、広島地方気象台と太田川河川事務所が共同で太田川の氾濫の危険についての情報を発表しています。

国土交通省では、水位情報を基に的確な避難準備や避難行動につなげられるよう、水位に応じて五段階の危険度レベルを設定し、レベルごとに自治体や住民の皆様にも求める行動の目安をわかりやすく設定しています。河川が避難判断水位に達することが、市町村から避難勧告が発令される目安となります。大雨時にはこれらの情報を活用し、的確な避難準備や避難行動を行いましょ。

川の水位の見方



太田川河川事務所HPより入手できるリアルタイム情報

- 河川事務所所管の雨量情報
- 太田川の水位情報
- ライブカメラ等の映像



太田川河川事務所HPアドレス
<http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>

※「川の防災情報」と「太田川河川事務所」のwebサイトは、それぞれ「川の防災情報」、「太田川河川事務所」で検索してください。

太田川・小瀬川を見守る特派員を募集しています

～皆様からいただいた情報を河川管理に活かします～

散歩やドライブ、通勤などで、太田川または小瀬川の河川敷を利用されたり、通ったりするみなさん、特派員になってみませんか？気付いたことは何でも結構です。河川に関する情報をお知らせください。

太田川河川事務所では、平成23年7月より、特派員としてボランティアで情報提供いただける方を随時募集しています。応募資格は小学生以上の方で、任期は2年間とします。ボランティアのため情報料および情報提供に関する賃金はお支払いいたしません。

応募いただいた方（個人または団体）には、太田川または小瀬川の特派員として「登録証」をお渡しします。なお、登録された方に河川管理に関する責任、情報提供を義務づけるものではありません。お気軽にご応募ください。



応募
問い合わせ

太田川河川事務所 管理第一課
TEL.082-222-9248 FAX.082-223-1885
(ホームページでもご覧いただけます。)



～太田川30年の川づくり～

中国地方整備局では、平成23年5月16日に「太田川水系河川整備計画【国管理区間】」を策定しました。

この計画は、太田川水系の国管理区間について、今後概ね30年間で実施する治水、利水、河川環境に関する整備目標や具体的な整備等の内容を示したものです。



太田川水系河川整備計画の『3つの基本理念』



安全・安心な暮らしを守る

河川整備基本方針で定めた目標に向け、整備計画期間内で実現可能な段階的な河川整備を実施し、人々の安全・安心な暮らしを守ります。

川の恵みを楽しみ豊かな暮らしを支える

都市用水の安定供給や良好な水質の維持に努めます。多くの人々が川を安全に利用できるような日々川を管理するとともに、川を軸とした様々な関係者との連携を深め、豊かな暮らしを支えます。

「水の都ひろしま」の顔を次世代に引き継ぐ

太田川を軸に形成された自然、歴史、文化を保全し、次の世代に引き継ぎます。

太田川の洪水被害

太田川流域の洪水の特徴としては、9月頃の台風期によるものが圧倒的に多く、次いで6～7月にかけての梅雨期のものが多く、およそ30年に1回の頻度で大規模な洪水が発生しています。

近年においては平成17年9月洪水が戦後最大の流量(矢口第1地点:約7,200m³/s)を記録し、中流部で甚大な浸水被害が発生するとともに、下流部においても計画高水位近くまで水位が上昇しました。



平成17年9月洪水時の様子
太田川 堂見橋下流右岸



平成17年9月洪水の被害状況
広島市安佐北区安佐町大字飯室地先

太田川の高潮被害

広島市は太田川の下流デルタ域に発達した大都市であり、市街地の主要部は干潟の干拓及び埋め立てによって拡大してきました。このため、地盤が低く、広島市の市街地は高潮被害を受けやすいゼロメートル地帯となっています。

平成に入ってから、平成3年9月の台風19号による高潮被害の他、平成11年9月の台風18号、平成16年8月の台風16号と9月の台風18号により高潮被害が発生しました。



平成16年高潮による浸水状況
(広島市南区出島付近)



平成16年高潮による浸水状況
(広島市西区観音付近)

● 河川整備の進め方

太田川水系河川整備計画の目標達成に向け、太田川においては、事業進捗状況(事業間の工程調整)、事業効果の早期発現(一連区間の早期効果発現)、上下流や本支川の治水バランス、過去の被災状況等を踏まえ、河川整備を実施します。

今後は策定された整備計画に従って、図の様な予定で太田川の整備を進めていきます。

整備手順

整備箇所	主な整備内容	河川整備計画期間
太田川	下流デルタ域	堤防整備・高潮堤防整備・河道掘削
	下流部	堤防整備・河道掘削
	中流部	堤防整備・河道掘削・輪中堤整備・宅地嵩上げ
	大芝・祇園水門	検討・改築
三篠川	堤防整備・河道掘削	
根谷川	堤防整備・河道掘削	
古川	堤防整備	

注)整備手順は平成23年度より示しています。注)表中の破線部は、下流への流量負荷が生じない範囲で実施します。



今後30年間で実施する主な事業

中流部の改修

戦後最大の平成17年洪水によって、中流部では床上浸水が発生しました。今後、同規模の洪水でも床上浸水が発生しないように改修を進めていきます。



太田川堤防整備箇所(広島市安佐北区安佐町筒瀬地先)

祇園・大芝水門を改築

建設から40年以上が経ち、老朽化が懸念される祇園・大芝水門を改築します。放水路側と市内派川側に洪水を分け、広島市の中心部を守ります。



太田川放水路と市内派川の分派地点



凡例
— 国管理区間



下流部・下流デルタ域の改修

高潮対策

近年では、平成11年9月、平成16年8月、9月に台風による高潮被害が発生しています。今後、下流デルタ域を守る高潮堤防を整備していきます。



元安川高潮堤防整備箇所(広島市中区住吉町地先)

河道整備

戦後最大の平成17年9月規模の洪水が発生した場合でも、浸水被害が発生しないように改修を進めていきます。



太田川下流部の整備予定箇所(広島市安佐北区可部付近)

干潟の再生

感潮区間特有の河川環境を保全するため、学識者で構成される「太田川生態工学研究会」などと連携しながら干潟の環境保全措置を実施しています。



太田川放水路已斐橋下流東岸

内水はん濫対策

支川矢口川流域において、内水はん濫による浸水被害の軽減を図るため、関係機関が適切な役割分担のもと、必要な内水はん濫対策を実施します。

支川(三篠川、根谷川、古川)の改修

改修を行うことで、各支川の戦後最大の洪水による浸水被害をほぼ解消します。

※戦後最大洪水:三篠川 昭和47年7月洪水
根谷川 平成18年9月洪水 古川 昭和20年9月洪水